

日 時：2011年12月17日

場 所：統一超商大樓 2樓

参加者：武島委員長、吉田副委員長、西谷副委員長、  
西邨委員、近藤委員

(社) 中華民國ロータリー米山会は12月17日、1時30分より、蘇定東様、歐元韻様のユーモアあふれる流暢な日本語による司会進行により幕を明けました。

許国文理事長の挨拶の後、来賓紹介、講演、自己紹介、工作報告、財務報告、各区活動報告と続くのですが、各方面から集まってこられる人々、新竹、桃園、高雄（日本で言えば京都?）、台南（日本で言えば大阪?）から奨学生OB、日本からも長野、東京、埼玉からこられたカウンセラーの方々、「米山」と聞くといわゆる「心内あれば、色外に現る」のことわざそのままに米山OB達は自然に集まってきて行動する時もお互いに心が通じ合う……の感です。

続きまして、陳美雲様による講演「轉個彎、人生不一樣（ちょっとしたきっかけで人生は変わる。）」「人はそれぞれ、違った人生観を持っているものですが、唯一確かなのは生まれながらにして持っている「運命」というものがあるということです。しかしそれは変えられないものではなく、その人の生き方によって変えることも出来、また新たな運命を創り出すことも出来るのです。”

と言う内容で息子様……呉李剛様（26歳の時、アメリカのファーストレディ、オバマ・ミシェル夫人の大統領就任式典でのドレスをデザイン。このドレスは、現在アメリカ・スミソニアン博物館に展示されている）について話をされました。

9名の学友会新入会員の自己紹介に続き、特に私たちがすばらしいと思ったのは、台湾米山奨学生第2期生の笹川優子様感想発表、第3期生の工藤夕奈様、加藤友花様の自己紹介でした。2009年度より始まりました台湾米山奨学生、日台の「絆」「架け橋」が米山奨学会を通じさらに進化して行くのだなと思った



次第です。

式典も終わり、懇親会に移り、時空を超えた集いになるのですが、最後のお開きには、板橋敏雄（財）ロータリー米山記念奨学会理事長の「万歳三唱」で終わります。台湾に来て、台湾の会場で、ほとんどが台湾米山OBがそろって日本語で『万歳』『万歳』『万歳』……。

今現在、米山奨学学友会は、日本はさることながら台湾、韓国、中国の3カ国でしかありません。もっと、もっと他国の架け橋を増やしていきたいものです。

最後になりますが、(社) 中華民國扶輪米山会とは、日本で最大の民間奨学団体「ロータリー米山記念奨学会」の奨学金を受けた台湾出身の元日本留学生によって1983年に結成されました。台湾と日本の人的交流のほか、台湾における社会・教育・文化への奉仕活動や社会参加を推進しています。2002年に台湾で社団法人の許可を得ました。

台湾出身の元米山奨学生 累計：3,111名

台湾米山奨学生登録数：米山会員数1,600名